

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

6119

陸普第七三九號

參謀本部 廢布第三〇號

三月六日

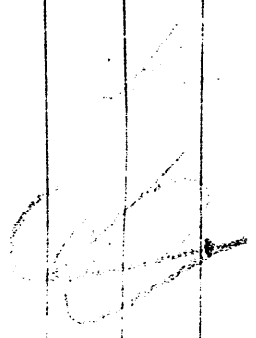
二十六年式及南部式拳銃射擊表

送付ノ件通牒

大正十二年三月三日 陸軍省副官松木直亮

參謀本部 陸務部長 川田明治 殿

首題ノ射擊表別紙配賦表ノ通及送付候也



陸軍

102

二十六年式拳銃
南部式大型拳銃
南部式小型拳銃

射

撃

表

大正十一年八月 陸軍技術本部編

0121

二十六年式拳銃射撃表

第一 主要數量

口徑	九純
銃ノ重量	九百〇四瓦
同(囊共)	一疋五百三十三瓦
實包ノ重量	十一瓦五
彈量	九瓦八
裝藥種	小粒藥
裝藥量	零瓦六
初速	百五十米
銃口前ノ彈丸ノ「エネルギー」	十一疋米
實用最大射程	百米
最大射程	大約千米
照尺	固定照尺ノミ

第二 彈道高、經過時間及半數必中界ノ表

(發射角. 11°, 2ノ場合)

距離 (米)	彈道高 (米)	經過時間 (秒)	半數必中界(米)	
			上	下
10	+0,011	0,07	3,1	2,3
20	-0,022	0,13	6,2	4,6
30	-0,098	0,20	9,3	6,9
40	-0,217	0,27	12,4	9,2
50	-0,381	0,33	15,5	11,5
60	-0,588	0,40	18,6	13,8
70	-0,839	0,47	21,7	16,1
80	-1,130	0,53	24,8	18,4
90	-1,469	0,60	27,9	20,7
100	-1,853	0,67	31,0	23,0

0122

本拳銃ノ照準線ハ嚴密ニ製作セラレアラスシテ各銃ニ付キ稍大ナル差異アリ、然レトモ大約十五米ノ距離ニテ彈着點ト照準點カ一致スル如キモノヲ基準トスルカ故ニ上表ニ於テハ此ノ場合ノ彈道高ヲ示セリ

第三 侵徹量

百米以下ニ於テハ彈丸ノ存速殆ト同一ナルカ故ニ各距離ニ於テ侵徹ノ景況モ亦殆ト同一ナリ

物 料	侵 徹 量 (ft)	備 考
韌強ナル新聞紙	25,	紙ニハ龜裂ヲ生シ彈丸變形セス
杉 板	30,	彈丸少シク變形ス
砂	300,	彈丸僅ニ變形ス
鐵 板	0	彈丸破碎シ扁平ナル菊花狀トナル

備考 本射撃表ハ大正十一年七月、伊良湖射場ニ於ケル實驗ニヨリ編纂セルモノナリ

0123

南部式小型拳銃射撃表

第一 主要數量

口徑	七糎
銃ノ重量	五百四十八瓦
同(裝共)	八百四十瓦
實包ノ重量	七瓦
彈量	三五六五
裝藥種	無煙拳銃藥(非制式)
裝藥量	零瓦一五
初速	二百八十米
銃口前ノ彈丸ノ「エネルギー」	十五瓦米
實用最大射程	三百米
最大射程	大約二千米
照尺	固定照尺ノミ

第二 彈道高、經過時間、存速、半數必中界ノ表

(發射角 12°1' 場合)

距離 (米)	彈道高 (米)	經過時間 (秒)	存速 (米)	半數必中界(西)	
				上下	左右
25	+0,044	0,10	269	14,0	14,3
50	±0	0,20	258	27,9	28,6
75	-0,178	0,30	248	41,9	42,9
100	-0,432	0,40	240	55,8	57,2
150	-1,292	0,61	224	83,8	85,8
200	-2,676	0,83	209	111,7	114,4
250	-4,840	1,08	196	139,6	143,0
300	-7,741	1,34	183	167,5	171,6

0124

本拳銃ノ照準線ハ嚴密ニ製作セラレタルモノニアラサルカ故ニ各銃ニ於テ發射角ニ若干ノ差異アリ、通常畧五十米ノ距離ニ於テ照準點ト彈著點トカ一致スル如キモノ多キヲ以テ上表ニ於テハ此ノ場合ニ於ケル彈道高ヲ記載セリ

第三 侵徹量ノ表 (單位耗)

物 料	距 離 (米)	10	50	100	備 考
韌強ナル新聞紙	75	70	70	70	紙ハ龜裂ヲ生ス彈丸變形セス
杉 板	70	70	70	70	彈丸少シク變形ス
砂	300	280	280	200	彈丸變形セス
鐵 釘	0	0	0	0	彈丸粉碎ス

備考 本射撃表ハ大正十一年七月伊良湖射場ニ於ケル試驗成績ニヨリ編纂シタルモノナリ

0125

南部式大型拳銃射撃表

第一 主要數量

口徑	八糎
銃ノ重量	九百四十五瓦
同(囊共)	一疋五百五十瓦
實包ノ重量	九瓦
彈量	六瓦六
裝藥種	無煙拳銃藥(非制式)
裝藥量	零瓦三
初速	三百十五米
銃口前ノ彈丸ノ「エネルギー」	三十四瓦米
實用最大射程	五百米
最大射程	大約二千五百米
照尺	五十米ヨリ五百米ニ至ル五十米毎ノ照尺チ有ス

第二 發射角、經過時間、存速、半數必中界ノ表

距離 (米)	發射角 (分)	經過時間 (分)	存速 (米)	半數必中界(米)	
				上	下 左 右
50	8,5	0,16	312	22,2	20,2
100	17,2	0,32	309	44,3	40,4
150	26,1	0,48	306	66,5	60,6
200	35,1	0,65	304	88,6	80,8
250	44,2	0,81	301	110,8	101,1
300	53,4	0,98	298	132,9	121,3
350	62,7	1,14	296	155,1	141,5
400	72,2	1,31	291	177,2	161,7
450	82,1	1,48	292	199,4	181,9
500	92,8	1,66	290	221,5	202,1

0126

第三 彈道高ノ表 (單位極)

距離 照尺 (米)	25	50	75	100	125	150
50	+3,1	0	-9,9	-26,6	-50,2	-80,5
100	+9,7	+13,3	+10,2	0	-16,9	-40,5

第四 侵徹量ノ表 (單位耗)

距離 物 料	10	50	100	備 考
靱強ナル新聞紙	130	105	80	紙ニハ龜裂ヲ生ス 彈丸變形セス
杉 板	160	140	115	彈丸少シク變形ス
砂	280	250	220	彈丸變形セス
鐵 錠	0	0	0	彈丸粉碎ス

備考 本射撃表ハ大正十一年七月伊賀湖射場ニ於ケル試
驗結果ニヨリ編纂シタルモノナリ

0127